

『米寿祝い』

2026年5月2日 会席料理 花野江にて



会席料理 花野江





『 雑 感 』

令和8年5月2日江南市古知野町広見の“会席料理花野江”にて子ども、孫達が米寿の祝をしてくれました。気持ちは若く、とても88歳とは思っておりません。

現在、布袋小学校の登下校時の見守り、挨拶運動を行い、登下校時には“おはよう”、“さよなら”の挨拶と共に、“タッチ”“じゃんけんぽん”等学童とのふれあいのもあり、又10月行います詩吟の大会の準備、毎月発行の(財)日本教育センターの“東海支部報(8頁)”の作成等、毎日充実した生活を送っています。

毎朝の日課で、大口町の堀尾公園付近までのウォーキングで汗を流しているせいか、大きな病気もなく、ボケないように努力しております。

いつまで継続できるかわりませんが、皆様に迷惑がかからないよう生き続けたいと思っております。

2026年5月2日

宮川安江



東海支部報第587号より

『私の独り言』

子ども・孫達が米寿の祝いをしてくれた。会場は余り知られていない古民家の割烹料理店でした。部屋は4室くらいしかありませんが、狭い高級感のある畳廊下を過ぎると数寄屋造りの和風豊かなりラックスできる部屋でした。料理は創作料理で、中にはアワビ。サザエの料理がありましたが、折角の美味しい料理が、入れ歯で固いものが食べられなかった。お祝いをしてくれるのは最高に嬉しかったが、88歳と意識することで気持ちが変わります。未だ若いといつも言い聞かせてきた気持ちの変化に、違和感が感じます。(いつまで生き続けられるだろうかの不安感が迫ってきます)